

赤穂城断絶 (1978)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 159分
初公開日 1978/10/28

【解説】

「柳生一族の陰謀」の深作欣二と萬屋錦之介が忠臣蔵に挑んだ大型時代劇。様式美にとらわれないドキュメンタリータッチの作風は、まさに深作欣二ならではの。小林平八郎を演じた渡瀬恒彦がブルーリボン賞、キネマ旬報賞、報知映画賞、市川雷蔵賞などを受賞した。吉良上野介に対し刃傷に及んだ浅野内匠頭が切腹させられ、赤穂はお家断絶となり、領地を召し上げられてしまう。大石内蔵助は家臣たちから誓紙血判を集め、仇討ちの準備を始める。

【クレジット】

監督 深作欣二 Kinji Fukasaku
製作 高岩淡
日下部五朗
本田達男
三村敬三
原作 高田宏治
脚本 高田宏治
撮影 宮島義勇
撮影監督 仲沢半次郎
美術 井川徳道
編集 市田勇
音楽 津島利章
助監督 藤原勇
出演 萬屋錦之介
千葉真一 Shinichi Chiba
松方弘樹
渡瀬恒彦
森田健作
西郷輝彦
江波杏子
丹波哲郎 Tetsuro Tamba
岡田茉莉子
三船敏郎 Toshiro Mifune
金子信雄
芦田伸介